



教育センター・育成センター所報

2008 年 1 月号



ホトトギス

GALILEI

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は
柏崎市教育情報支援シス
テムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

柏崎市立教育センター
柏崎市青少年育成センター

1月号 CONTENTS



○ 今月の巻頭言 「これでエネルギーの枯渇に追いつけるか？」 柏崎市教育委員会教育長 小林 和徳	1
○ 教育センターたより	
● アクセス（教育研究班・情報教育）	2
子どもが喜ぶタックシールの活用・講習会テキスト登録・情報関連講座のご案内	
● プロジェクト K（科学技術教育班）	6
事業報告(小3じしゃくのひみつ, 日角小地層観察会, 上越理科を語る会)・1月の予定	
● 心の窓（教育相談班）	7
我校の教育相談(大洲小)・用語の弊害・子どもたちと向き合いながら・不登校予防のポイント12	
● プラネット（視聴覚ライブラリー）	10
液晶プロジェクタ及び拡大コピー機操作講習会のご案内・保健学習のオススメ教材	
○ 青少年育成センター通信	11
1月の予定・大人が学ぶe-ネット安心講座・たばこ自販機の制限・NO テレビ NO ゲームへの挑戦	
○ センター点描	16
○ 所員随想つれづれ	17
「大吉から小吉へー今年はどうな1年? -」 教育相談班カウンセラー助手 栗脇 瞳 「良寛関係にも偽?」 科学技術教育班嘱託員 藤田 進	
○ 新聞記事から	19
○ 教育センター1月の予定	20
○ 12月の教育センター利用状況	



○ 未だに食事の早食いが直らず家内にたしなめられています。これは現職のとき、子どもが給食を食べている間に生活ノートに赤ペンを入れようと、少しでも早く終わらせていたのが習慣化したものです。また、部活指導に熱を入れ終業式の前日になっても通知表が間に合わず、成績交換さえしてなくてほかの先生にひどく叱られ、はっと目が覚めて夢だったと安堵する日が今でもあります。

○ 学校は余りにも忙し過ぎて教師が悲鳴をあげています。せめて子どもが学校にいるときはなるべく子どもに関わろうすると残業が多くなります。忙しいのは何も教師だけではありませんが、これでは余りにも子どもも教師も気の毒です。子どもと向き合う時間が取れないほど多忙を極めるのは異常で、一番の被害は子どもが被っているのです。

○ 中越沖地震の復興加配で柏崎刈羽の小中学校に54人の教員が配当されています。



若葉抄

学校では子どもへの対応がきめ細かくできて大変有難いと喜んでいます。若手が配当された学校では子どもと一緒によく遊んでもらえるので、子どものストレス解消にもよいようです。

○ ところで、全国学力テストの結果、柏崎は県平均をかなり上回っているといえます。これは全国1位の秋田県が行っている少人数指導の成果と一致します。柏崎では厳しい財政状況の中10年ほど前から指導補助員を学校に配置し、きめ細かな指導が行われた成果であると考え、関係者に心から感謝いたします。

○ 本抄で度々指摘しているように、現在の多くの教育課題を解決する最も大きな要件は、教職員の定数増にあると断言できます。百年の大計たち、政府は小中学校の大幅な教員増の予算を確保してほしいと切望します。(種)

これでエネルギーの枯渇に追いつけるか？



柏崎市教育長 小林 和徳

生涯学習を推奨し、推進すべき立場にありながら、果たして自分の学習はどうかと振り返ると空恐ろしいものがある。毎日の仕事が生涯学習そのものである、などとうそぶくのが関の山である。仕事を遂行する上で欠かせない学習は、当然しなければならず、そうでないといい仕事はできない。(などとカッコつけて) それも生涯学習に他ならないのだろうが、そんな時間に追われるようなものだけに汲々としていたくない。(また、カッコつけて)

今私ができることといえば読書くらいのものだ。私の読書スタイルは、一冊読破主義とでもいうのだろうか、一冊を常に携帯し、できるだけ間を置かずに読み切る。ハズレの本を手にしたときに挫折する。

読書好きの友人がいる。彼は、家の全ての部屋と自分の車の中に、本を一冊ずつ置いている。(トイレはどうか?) そしてその一冊一冊は異なったジャンルのものだ。彼は、特別にのめり込んだ場合を除いて、その部屋にいるときはその部屋の本を読むのだそうだ。勤め先の机の引出しにも一冊、鞆の中にも一冊と言った具合だ。

そんな器用なことができるものかと思うが、彼には長年の訓練?で、そんな読書が今では日常生活に完全にとけ込んだ自然体になっているのだ。いわゆる多読、乱読というのだろうが、私には真似ができず羨ましい限りだ。もともと彼は、一度にいくつもの仕事を並行して進めることができる人間で、そのストレス解消が昼の読書であったり、時間待ちの車の中でのそれであったりするのだろう。

私は、「この本は面白そうだな」と思って買った本が、意外に期待はずれであったときなど1時間も集中できない。もったいないので、後で少しずつ、残り物のおかずを口に運ぶかのように読むが、不健康極まりなく、ストレスさえ感じる始末だ。そんなときは、早めに見切りをつけて他の本に挑戦するほうが賢明なのだろう。

そこで、私が友人方式を取り入れるとすればどうなるか。玄関・車庫(庭・畑に関する読み物)、客間(時代小説)、居間(時代活劇小説)、台所(酒と食の本)、寝室(短編小説、すぐ眠くなるので)、書斎のような部屋(教育エッセイ、無理スナナ)、車(現代ドキュメント)、鞆(推理小説)、職場の机の引出し(短編時代小説)。さあこれで完璧だ。

この文が読まれる頃、私の挑戦は始まっているかも知れない。

(うーん、きつばるなって!)



No.75	平成 20 年 1 月 8 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	-------------------	------------	--

タックシール活用術

子どもが喜ぶ授業の工夫！



子どもたちが一生懸命勉強したノートにコメントを記入したり、いろいろなスタンプを押したり、シールを貼ったりなどの工夫は、誰もがやられていることではないでしょうか。

しかし、スタンプもシールも種類が限られているので、毎日の点検ではマンネリ化してしまっています。

タックシールを使うと、オリジナルのシールが簡単に作れるだけでなく、誰が提出したのかなどのチェックも簡単にできるようになります。最近では、各メーカーからフリーのシール作成ソフトをダウンロードして利用することができるので、手軽にやってみることができます。



がんばりシール

著作権フリーのイラストデータを使えば、左のようなオリジナルのがんばりシールを作成することができます。

金メダル、銀メダル、銅メダルでがんばり度を表現してみました。

こんなシールをもらったら、次もがんばろうと思ってくれること、間違いなしです！

【使用シート】A-0ne 宛名ラベル 24 面



合格シール

漢字テストの合格シールには、子どもたちの名前を一人ずつ入れてみました。

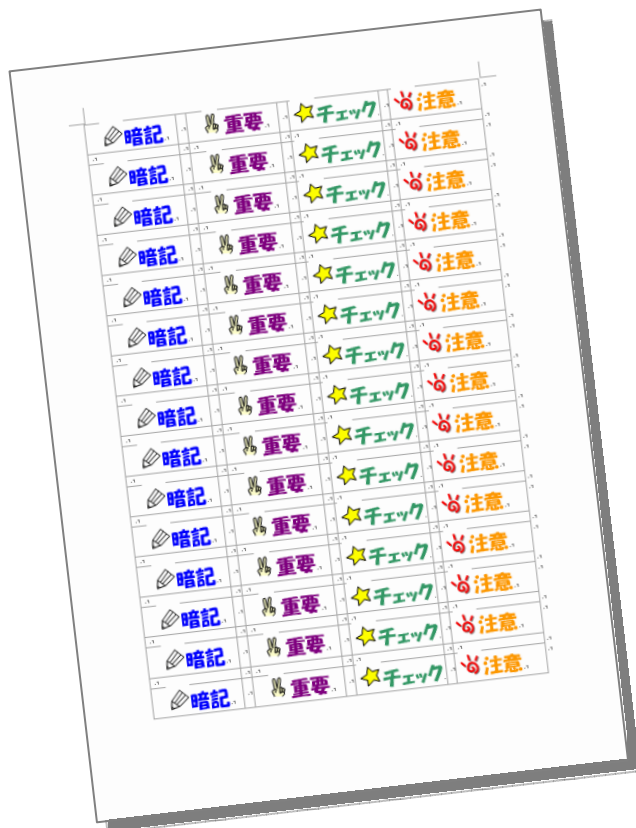
でも、エクセルに入力してあるデータを差し込むことができますから、一つ一つ入力することは必要ありませんよ。

合格者に貼ってあげるので、貼られていないシールで不合格者も一目瞭然です！！

【使用シート】A-0ne 宛名ラベル 44 面



👉 ノート用シール



ネームシールを使えば、昔、雑誌の付録についてきたノート作り用のシールも簡単に作れます。

あらかじめ子どもたちに配布しておいて、授業の中で貼らせたり、家庭学習でのノート作りに使わせるなど、活用の幅が広がります。

A4 サイズのシール用紙で子どもたちに使わせるには大きい場合には、半分に切断するとか、はがきサイズのシートを利用するなどの方法もあります。

【使用シート】A-One ネームラベル 60 面



いかかでしたか。デジカメで撮影した自分の顔写真をがんばりシールに使っても楽しいですね。

ネームシールで持ち物シールを作成したり、大きなシールで理科や社会などの図版シールをノートに貼る教材として作成するなど、工夫次第でいろいろと活用の幅が広がります。3つのサンプルシート(Word データ)を柏崎市教育情報支援システムの教材 DB に登録しましたので、ぜひ、お試しください。

柏崎市教育情報支援システム

<http://kedu.kenet.ed.jp/> **今すぐアクセス！**



研修講座スナップショット・・・・・・・・



モラルスキルトレーニング研修講座

上越教育大学 林泰成先生



WISC-Ⅲ入門研修講座

柏崎養護学校 石黒英巳先生



 講習会のテキスト・資料を登録しました

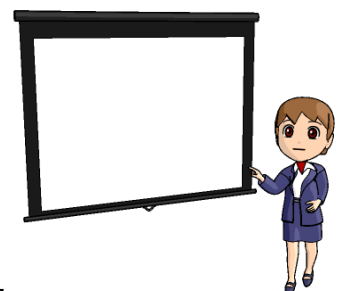
実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル／備考
H19.12.05	記録型CD・DVDの活用	記録型CD・DVDの活用.pdf	テキスト第4版
		HPBでアルバム作成.doc	ホームページビルダーを使って簡易アルバムを作成する手順
		フォトストーリーでムービーアルバム作成.doc	フォトストーリー3でムービーアルバムを作成する手順
H19.12.25	Excel活用4	Excel活用4.pdf	テキスト第4版
		Excel活用4例題.xls	演習用例題
		Excel活用4名簿管理サンプル1.xls	名簿管理のサンプル(マクロを含まないバージョン)
		Excel活用4名簿管理サンプル3.xls	名簿管理サンプル(抽出や兄弟関係のセットを自動化するマクロを含むバージョン)
H19.12.25	Excel活用5	Excel活用5.pdf	テキスト第4版
		Excel活用5例題.xls	演習用例題
		Excel活用5年間予定表サンプル1.xls	年間予定表のサンプル(マクロを含まないバージョン)
		Excel活用5年間予定表サンプル2.xls	年間予定表サンプル(印刷プレビューなどのマクロを含むバージョン)
H19.12.26	デジタルビデオ編集入門	デジタルビデオ編集入門.pdf	テキスト第4版
		デジタルビデオ編集作業手順.pdf	デジタルビデオ編集の作業手順概要
		演習タイムライン説明.pdf	演習で作成するビデオのタイムライン説明

■ ■ ■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■ ■ ■

 もうすぐ実施される情報関連講座のご案内

◆H20.01.17(木) プロジェクタの活用

パソコンやビデオ、DVD プレーヤーなどとプロジェクタをつないで使用するための基礎知識とコツについて学習します。以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。また、高機能な実物投影機のように利用できる「マルチプロジェクションカメラ」の使い方についても紹介します。



パソコンとプロジェクタの接続、ビデオカメラとプロジェクタの接続、デジタルカメラとプロジェクタの接続、DVD プレーヤーとプロジェクタの接続、アナログ RGB、DVI 端子、コンポジット端子、S 映像端子、RCA オーディオ端子、キーストーン、ANSI ルーメン

マルチプロジェクションカメラ



<補足>この講座は視聴覚ライブラリとの共催のため、一般の受講者も受け付けています。あらかじめご了承の上、ご参加いただきますようお願いいたします。

◆H20.01.18 (金) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A 9回目 ◆

16:00～18:30 の間、担当が様々な疑問やトラブルの解決などの相談をお受けします。事前に参加の申し込みをする必要はありません。開始時刻から参加できなくても構いません。気軽においで下さい。

◆H20.01.29 (火) 基礎から学ぶ ICT 活用⑤(スクーリングその4) ◆

メールによる情報交換や訪問支援を織り交ぜながら、年間を通してパソコンやネットワークの基本的な活用方法について年間を通して学習するコースの5回目です。

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

📁 セキュリティホール情報

マイクロソフトより、12 月 12 日付けで 12 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 WindowsUpdate などを実施していただくようお願いいたします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能を ON にする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS07-063 Windows Vista の重要な更新	SMBv2 の脆弱性により、リモートでコードが実行される (942624)	Windows Vista		
2	MS07-064 Windows の重要な更新	DirectShow の脆弱性により、リモートでコードが実行される (941568)	Windows 2000,XP, 2003Server,Vista		
3	MS07-065 Windows の重要な更新	メッセージ キューの脆弱性により、リモートでコードが実行される (937894)	Windows 2000,XP		
4	MS07-066 Windows の重要な更新	Windows カーネルの脆弱性により、特権が昇格される (943078)	Windows Vista		
5	MS07-067 Windows の重要な更新	Macrovision ドライバの脆弱性により、ローカルで特権が昇格される (944653)	Windows XP, 2003Server		
6	MS07-068 Windows の重要な更新	Windows Media Format の脆弱性により、リモートでコードが実行される (941569 および 944275)	Windows 2000,XP, 2003Server,Vista		
7	MS07-069 Internet Explorer の重要な更新	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (942615)	Internet Explorer 5.01, 6, 7		

 は Windows Update または Microsoft Update,  は Office Update から更新を実行します。

なお、Office が 2002(XP)以降なら Microsoft Update を利用すると、まとめて実行することができます。

    は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

📁 セキュリティホール情報(マイクロソフト関連以外)

◆ 11 月に続き、新たに一太郎 9～2007 や一太郎ビューアについて危険度の高い脆弱性が見つかっています。

12/14 付でジャストシステムから更新モジュールが公開されています。すでにこの脆弱性を攻撃するウィルスも確認されていますので、対象ソフトウェアを利用している方はできるだけ早く同モジュールを適用してください。

詳細はこちら → <http://www.justsystems.com/jp/info/pd7005.html>

プロジェクト K (科学技術教育班だより)

12月の事業から

○ 小学校第3学年 「じしゃくのひみつ」

- ◇日 時 12月6日(木) 15:00~17:30
◇会 場 教育センター 科学実習室
◇内 容 磁石につくもの・つかないものを調べる実験や、明かりがつくもの・つかないものとの比較、磁石そのものの不思議を体験する実験などを通して、磁石の性質についての見方や考え方を養い、実感を伴った理解を促す指導についての研修を行いました。
学校の磁石の磁力回復の方法の研修や、簡単な教材作成も行いました。



○ 比角小学校 地層観察会

- ◇日 時 12月12日(水)
◇会 場 椎谷観音岬~石地小学校前海岸
◇内 容 足元の地層、壁面の地層、椎谷層の広がり、様々な角度からの地層、堆積実験と地層の見方、水のはたらきで出来た地層の証拠、など

○ 第25回上越の理科を語る会 (上越科学技術教育研究会主催)

- ◇日 時 12月2日(日)
◇会 場 高陽荘
◇内 容 上越教育大学の下村博志先生より「金属イオンがつくる化合物のいろいろ」という演題でご講演をいただきました。
金属イオンが形成する金属錯体や有機金属化合物について、どのような性質を持ち、どんな形をしているのか、上越での研究結果を交えてご紹介いただきました。

1月の主な予定

- 学年別研修会 小学校第4学年「もののあたたまりかた」 17日(木)
○冬の星空観察会 18日(金)
○教職員理科研究発表会 23日(水) ほか

平成20年1月8日

心の窓 (教育相談班だより)

No 102

柏崎市立教育センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号TEL (代表) 23-4591
(Fax) 23-4610

我が校の教育相談

～日常のふれあいを大切にした信頼関係を基に～

柏崎市立大洲小学校

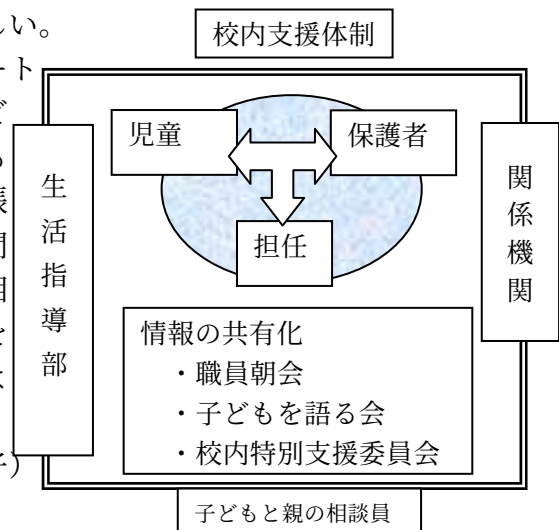
当校は児童数163人、特別支援学級2学級を含む8学級編成である。TT授業や縦割り班活動を始めとして全職員が全校の子どもたちの顔を覚え、いろいろな場面でふれあうことができる規模であり、常にそれを心掛けている。

子どもに寄り添った理解を進めるために、生活指導部としては、いじめ問題に対応することを主眼とした「学校生活アンケート」を6月に、人間関係能力や学級適応感などの様子を知るための「心の健康アンケート」を11月に実施した。それぞれその後に担任による教育相談を行っている。「学校生活アンケート」からは、ここ数年のうちに仲間関係がかなり改善され穏やかになってきていることがうかがえる。しかし、まだまだ人間関係をうまく構築できずにいる子や、大人の見えていないところで心無い言動に及ぶ子もいる。また、内攻的で人前でしっかりと自己表出できないでいる子もいるのが現実である。低・中学年向けと高学年向けに設定した内容で行った「心の健康アンケート」は、一人一人の、集団への所属感やストレス因をうかがい知るのに有効であると思われた。

ただ、学年が進むに連れ、「アンケートに感じていることをそのまま書けるわけない」という声も聞かれるようになる。その後の教育相談も時間をかけて行っているが、子どもの心に寄り添いよく知ることができているかと言えなかなか難しい。

この他にも養護教諭の計画による地震後のアンケートや普段の何気ない会話や聞き取り・作文などから子どもの心の片鱗を知り、その時々新たな思いで子どもに接している。また、保護者との一番の連携は連絡帳によることが多い。連絡帳での意思の疎通や家庭訪問などを積極的に行い、保護者との連絡パイプを太く相談しやすくしておきながら、一方で校内の支援体制を活用して学級担任一人で問題や責任を抱え込まないように配慮しながら進めているところである。

(文責 生活指導主任 関美和子)



～カウンセリングルームから～

『用語の弊害』

昨年10月、県教委が主催したSC連絡協議会で、東京都スクールカウンセラーの植山起佐子先生の講義を聞いた。テーマは『いじめ問題にスクールカウンセラーはどう関われるか』。講義の中で植山先生は「“いじめ”という言葉で括ることによって見えなくなるものがあるので注意すべき。」と仰しゃっていた。いじめの中には、ふざけや遊び半分の延長から犯罪に近いようなものまでかなり大きな幅があるし、子ども達自身が、自分が行ったり受けていたりしている行為を「いじめ」という言葉では認識していないことも多いからだという。

それを聞いていて連想したのだが、似たような「用語を使うことによる弊害」が普段の教育相談活動の中でも生じやすい。相談者（クライアント）は、「不登校」とか「発達障害」などの名前を持った人として初めに登場するのではない。「なにかうまくいかないこと」や、「困っていること」、「辛いこと」を持った人として来ている。こちらが、それに丁寧に耳を傾けることせずに早々に「ああ、〇〇型のいじめか」「ああ、これは〇〇型の不登校だな」とか「〇〇障害特性だな」と診断的に理解しようとする（そのこと自体は「見立て」の為には必要なことだが）、援助に行き詰まることも多い。

臨床心理学用語の中には、不可視的な仮説概念（例：「自閉特性」「トラウマ」「うつ親和型性格」「共依存」等々、挙げればきりが無い）、つまり、はっきりと目に見えない心の現象をあたかも実在するもののようなぞらえて言葉化したものが多い。「言葉をあてることによって理解が具体化され、他者と概念が共有される便利」と、「言葉をあてることによって、その個人固有の内界・体験を掴み損ねる危険性」、これが誕生以来ずっと続いている臨床心理学が抱える大きなジレンマだ。

なんとなく、みんなが口にして分かったような気分になっている流行の用語を使うのは少し慎重になるべきだろう。少なくとも、用語を口にするだけで、簡単に分かった気になってしまい、注意深く相手を分かろうとしない態度にならないようにしたいと思うのだが。

数年前に、大江健三郎が、NHKの番組で、フランスの哲学者シモンヌ・ベユの言葉を引いて小中学生たちに講演をしていたのを思い出す。「今、世界の平和は危機にある。危機を乗り越えるために、Quel est ton Touremont? という気持ちと言葉が、世界のみんな一人一人から出てくるようになること。これが大切。」と。直訳すると「あなたの苦しみは何ですか」。平易に言えば「どこか悪いの?」「だいじょうぶ?」といった身近な人への投げかけの言葉だそう。教育相談の第一歩もそこから始まるのだろう。

（文責：小林東）

※教育相談班1月の予定

＊カウンセリングルーム

- ・いろいろ体験グループ（小学生A）1月11日（金）16：00～17：00（教育センター）
- ・いろいろ体験グループ（小学生C）11日（金）16：30～17：30（教育センター）
- ・いろいろ体験グループ（小学生B）18日（金）16：30～17：30（教育センター）
- ・いろいろ体験グループ（中学生1）25日（金）18：30～20：00（教育センター）
- ・いろいろ体験グループ（中学生2）2月1日（金）18：30～20：00（教育センター）

＊ふれあいルーム

9日（水）通級開始

9日（水）～10日（木）保護者面談



～ふれあいルームから～

「子どもたちと向き合いながら」

先日、当センターのある職員から「自分は小学生の時に、きちんと前を向いて座ることがわからず、3年生になってから担任の指摘で初めてそれに気づいたんですよ！」という話を聞いた。一見拍子抜けするような何とも愉快的話なのだが、実は非常に大切なことを含んでいるなぁと後から実感した。私も普段特に自分の息子に関して反省しなければならないのだが、対象年齢や自分自身の体験、或いは他者との比較も含まれると思うが、「当たり前にはできるだろう」「できないわけがない」と思いがちなことが結構あって、「なんでできないかなあ」ときつい言葉をぶつけてみたり、「いつかどうにかなるだろう」と見て見ぬ振りをしたりしていることがあるのではないかということだ。

今の子どもたちや若い人たち（実際自分もそうなのですが）は、社会的スキルが足りないとか、人とかかわることが下手だといわれている。世の中には、適応能力や認知能力等が優れていて、見様見真似ですぐに何でもできてしまう人もいれば、何度やってもなかなかうまく習得できない人もいる。まわりの大人たちが、すべてを後者に合わせる必要はないが、まずは丁寧に教えることから始めることなのだろうと思う。きっと、ほんの少し緩やか目線に変えてあげればよいことなのだ。「わかった！」「気づいた！」「できた！」と、成功体験が増えることが自信につながり、人としての良い関係を築くこともできるのだ。

通級生の中には、人と人とのかかわりの中で失敗やトラブルに遭遇し自信を失っている子ども、または物事を学習すること自体に困難を抱えている子どもたちがたくさんいる。私たちが、つい「当たり前にはできる」と思ってしまう多くのことは、どこかで学習し、身に付けることなのだ。年齢や偏見で判断してはならない。できないことはもう一度最初からそこに戻って教え一緒に学んでいくことが大事なのだと、自分に言い聞かせている今日この頃である。

（文責 ふれあいルーム指導員 大島美和）

教育相談班ワンポイント講座

不登校予防のポイント12

不登校の要因はさまざまである。もちろん学校が不登校の要因のすべてではない。しかし、不登校に追い込まないための予防は学校にもできる。予防こそ学校の専門分野と考えるべきである。子どもが不登校になると、学校復帰までにかなりの時間を要する。不登校が定着してしまった時点では、もはや専門機関の援助をあおぐしかない。しかし、早期に予防的な取組をしていれば、不登校にまで追い込まれなくてもすんだという事例は多い。予防なしに、現代の不登校の実態を解決するのは不可能であり、予防こそ不登校を解決する方法であると言える。予防は学校が主導的な立場で取り組まなくてはいけない重要課題である。

次にあげた「不登校予防のポイント12」は、いずれも学校現場の実践として試みられ、成果のあったものばかりである。教師たちが自らの経験と実践の中で得た、予防のための秘策である。

- 1 各学期のスタートが肝心
- 2 定期面接の活用
- 3 悩み調査で実態把握
- 4 自己肯定感と人間関係能力を育てる
- 5 学校の日常で行う居場所づくり
- 6 行事の活用
- 7 成果を認め合える集団づくり
- 8 いじめを許さない教師の姿勢
- 9 魅力ある授業の工夫
- 10 思い込みの修正
- 11 一人一人が学校生活に目標をもてるように
- 12 学校を好きになる集団規範の育て方

（育てるカウンセリングによる教室課題対応全書「不登校」より）

謹賀新年

平成 20 年がスタートしました！
本年もどうぞよろしくお願いいたします。
～視聴覚ライブラリー～



■1月・2月 機器操作講習会のお知らせ■

液晶プロジェクタ 操作講習会

- 日時 1月17日(木) 15:00～
- 会場 教育センター
- 定員 20名(先着)
- 申込み 23-1168 までお電話ください

ビデオやパソコンと接続しスクリーンに投影する手順を学びましょう。使ってみると意外にカンタン！会議や映写会で活用できます

拡大コピー機(マックスアート) 操作講習会

- 日時 2月7日(木) 15:00～
- 会場 教育センター
- 定員 5名(先着)
- 申込み 23-1168 までお電話ください

長尺の横断幕や看板などを作成する手順を学び実際に作ってみましょう！その他拡大コピーやポスター印刷、割付印刷もできます。



マックスアート講習会について

講習はどなたでも受講できますが、マックスアートを利用できる団体には制限があります。詳しくはライブラリーまでお問い合わせ下さい。

■教材・機材の利用状況について■

12月末現在、教材 351本、機材 528台の貸出しがありました。地震の発生も影響し昨年に比べ大幅な利用減となっていますが、学年末の学習のまとめにぜひライブラリーの機材・教材をご利用ください。ご利用お待ちしております。

今月のオススメ教材(保健学習)

管理№	タイトル	分	管理№	タイトル	分
V09-078	わたしたちの体と心	12	V09-124	薬物乱用・その正体	18
V09-083	どうして病気になるの？	14	V09-129	未成年者とアルコール	26
V09-121	病気にならない体をつくる	14	V09-123	心の健康とストレス対処	20
V09-119	心の健康1心と体はつながっている	15	V21-009	インターネットの罠	20
V09-120	心の健康2悩みや不安をふきとばせ	15			
V09-098	健康な心と体シリーズ たばこ	13			
V09-122	しのびよる性感染症	21			



寒い日が続きます。風邪などひかないように気をつけましょう！

育成センター通信	0801	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
----------	------	--

1月の予定

日	曜	ことがら	日	曜	ことがら
7	月	所内会議	21	月	大集会実行委員会
11	金	昼間育成活動	29	火	夜間育成活動

大人が学ぶ e-ネット安心講座

2007年12月8日 講師 滝澤 淳氏 市立教育センター 参加者 65人

ケータイを持つ理由

親・・・家族との連絡に 子・・・友人とのメールに

親は 子との認識の違いに気づくべし

※ ケータイは、インターネットの入口です。

ケータイは誰の持ち物か

親の持ち物を子に貸しているのだから 親が責任を持つべし

※ ケータイの料金を払うのは親です。



ケータイで 声を聞けば安心か

誰と何をしているかわかりません

※ ケータイはどこからでもかけられる。

ケータイはそれほど怖いのか

正しく使えば 安心です。親子で

使い方について話し合しましょう

e-ネット安心講座 参加者の声

- ・ インターネットは怖いと思いましたが、正しく使用すれば安心ということが分かりました。
- ・ 子どもに携帯を安易に持たせられないことを再確認しました。
- ・ 娘から「中学校に入学したら携帯買って。」と言われています。目的や使い方など安全性を家族で確認して持たせ、親が見張り役になって行動しなければと思いました。
- ・ 子どもが小学生なので今のところ実害が無いが、今後の参考になりました。
- ・ 資料が多くて分かりやすい説明でした。ありがとうございました。
- ・ 現状、実態を分かりやすく説明してくださったのだと思います。しかし、人間フィルタリングに関する内容をもっと踏み込んで話していただきたかった。
- ・ 我が家ではこれから子どもが携帯を持ち始めると思うので、家族内で話し合い、ルールを決めて安全に使用できるようにしていきたいと思います。フィルタリングという言葉は初めて聞きましたが、さっそく自分の携帯でも行ってみたいと思います。
- ・ 自分自身がインターネットに詳しくないので専門用語など少し分からないところがありました。パソコンや携帯のセキュリティをきちんと勉強しないといけないと思いました。柏崎の情報がもう少し知りたかった。
- ・ これから子どもが大きくなりますので、参考にさせていただきます。
- ・ まだ子どもにケータイを持たせていないので、これから持たせる時に家族で話し合うよい機会になりました。
- ・ 携帯電話の実物を操作しながら（映像で）サイトを表示し対処方法を教えていただけるとありがたかった。大人より子どもがネット・メカに強いというところがつらいところです。どうしたら子どもと同じレベルになれるか問題です。（このことについて、講師は「日ごろから子どもとよいコミュニケーションがとれる人間関係づくりをしながら、分からないところを子どもに聞いてみるのも一つの方法です。」と説明したように思いますが・・・。）
- ・ 「人間フィルタリング」「インターネット機能付の携帯を子どもに持たせているのは日本だけ」「携帯を持たせる際の家族のルール、親の責任」説教や道徳論でなく、「リスク」や「リスク回避」について、子どもに教える、響く伝え方などが参考になりました。PTA等で活用していきたいと思います。
- ・ 子どもが携帯の利用方法をマスターする速さは驚異的です。親のほうがちが遅れていることを認識し、子どもを守っていかなければならないと心しました。出席してよかったです。ためになる話をありがとうございました。
- ・ ネット安心標語「ひまだけどね」は感心しました。親として何をしなければならぬかを教えられました。



ネット安心標語 「ひまだけどね」

ひ: 開かない 知らない人から 来たメール
ま: 回さない これを回せと いうメール
だ: 誰だろう? いつも確認 メールやケータイ
け: 懸賞や プレゼントには 気をつけよう
ど: どうしよう 迷ったときは すぐ相談
ね: ネットでは 送る前に よく見なおして

「eーネット安心講座」の問い合わせは 育成センターへ

インターネット、携帯電話は私たちの日常生活やビジネスに欠かせない大変便利なコミュニケーションツールとなりました。しかしながら、インターネットがもたらす恩恵は多い反面、ウイルス、迷惑メール、個人情報漏洩、架空請求詐欺などのトラブルも多発しています。近年、子ども達が容易に携帯電話やインターネットに触れる環境が整ってきていることから、児童・生徒を保護・教育する立場にある保護者、教職員、その他児童、生徒を保護・教育・指導する者全て（以下、「保護者、教職員等」という。）に対してもインターネットの安心・安全利用に関する啓発が必要になっています。

社団法人電気通信事業者協会、社団法人テレコムサービス協会、社団法人日本インターネットプロバイダー協会、社団法人日本ケーブルテレビ連盟、財団法人インターネット協会、財団法人マルチメディア振興センター、総務省及び文部科学省はeーネットキャラバン運営協議会を結成し、趣旨に賛同する企業・団体・個人の協力により、主に保護者及び教職員向けにインターネットの安心・安全利用に向けた啓発を行う「eーネット安心講座」を実施します。

平成17年度の関東地域及び東海地域での試行結果を基に平成18年度から3年間、全国規模で本格実施します。原則として子ども向けのみの講師派遣はお受けしておりません。必ず保護者・教職員等向け講座とセットで開催するか、保護者・教職員等向けの講座としてください。また、「eーネット安心講座」での講師の派遣に伴う謝金や交通費は原則的に不要となっております。

6 月から「たばこカード」がないと購入できません。



2008 年から、成人
識別たばこ自動販売
機が全国一斉に導入
されます。

導入後、たばこの購
入には生年月日を記
載した、たばこカー
ド「taspo」が必要に
なります。

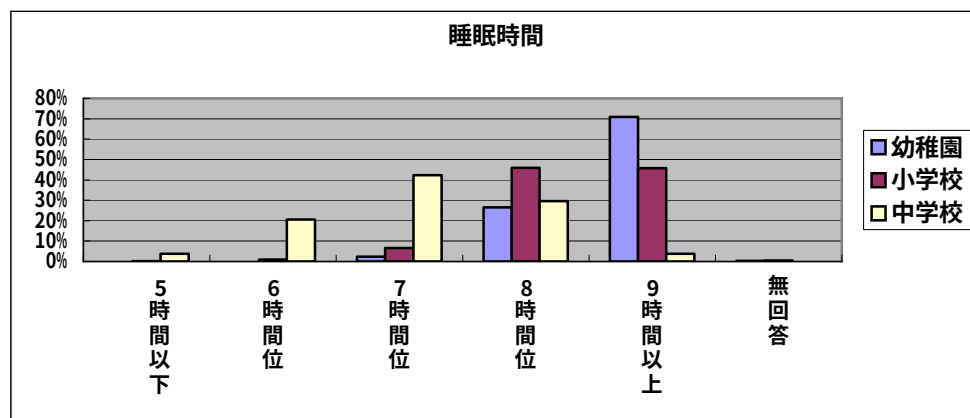
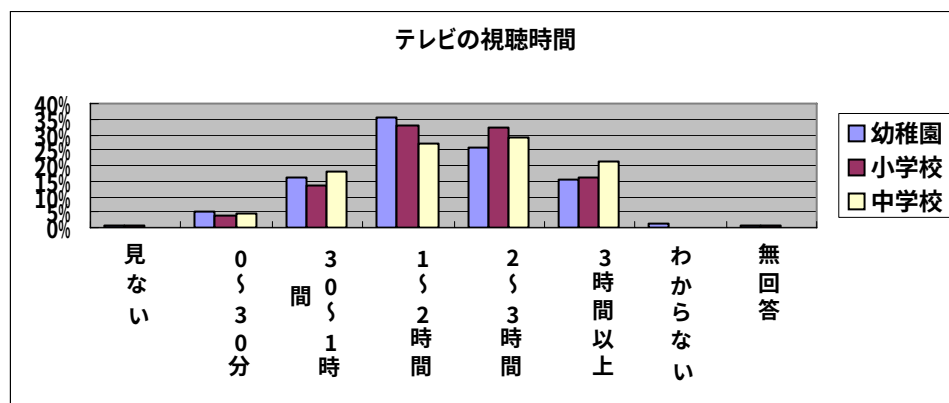
新潟県は 6 月か
ら導入になります。
す。

青少年健全育成国民運動柏崎地域実施委員会の推進運動

『NOテレビ』『NOゲーム』への挑戦！

事前アンケート調査の結果から

柏崎市・刈羽村の小学生（596人）・中学生（312人）校、保育園・幼稚園・保育所（603人）の計1511人の児童生徒と園児並びに保護者皆様からの事前アンケート調査にご協力いただきました。そして当該の先生方にもご協力いただきました。地域実施委員会のアンケート調査部員が2日間にわたり集計作業をしました。今回は昨年度にもましてアンケート数が多く、時間を要しましたが、柏崎市・刈羽村の幼・小・中学生生活の実態が浮かび上がってきました。その結果の主なものを報告いたします。



このグラフはテレビの視聴時間と睡眠時間の結果です。事前調査の結果からテレビの視聴時間が多くなればなるほど、睡眠時間は減少する傾向にあります。そしてテレビの視聴時間が2～3時間の小中学生は大体90%が平均1時間ゲームをしていますので、テレビ視聴の時間にゲームの時間が加わると考えられます。

「ノーテレビ・ノーゲームへの挑戦」運動に昨年の12月20日から冬休み明けの1月10日まで取り組んでいただきました。只今集計中です。結果は次号でお知らせいたします。 **2月16日(土)** 青少年健全育成大集会「講演会」の演題が決定しました。

『メディアによる影響～子どもの生活リズムと脳への影響～』 講師 神山 潤先生

多数の方の聴講を希望します。



ケータイを買ってやるだけでは、
子どもを一人で夜の街へ出すのと同じ！

大人が学ぶ e-ネット 安心講座

青少年育成センターでは、12月8日に教育センターにおいて e-ネットキャラバンを活用した「大人が学ぶ e-ネット安心講座」を実施しました。e-ネットキャラバンは通信会社、インターネット協会、文部科学省などで組織していて、主に保護者や教職員等を対象にインターネットやケータイの安心・安全利用に向けた啓発活動を行っている団体です。

今回は10月の育成活動に参加予定の小・中・高PTAや教職員、それに育成委員合わせて約70人が参加し、子どもがインターネットやケータイのトラブルをどう避けたらよいかということについて熱心に研修しました。講師はNTT東日本一新潟の滝澤 淳さんです。滝澤さんは、インターネットやケータイの利便性を認めた上でそこに潜む危険性や落とし穴について事例を挙げながら詳しくお話されました。その中で、ケータイを持つ理由の親子のギャップが様々なトラブルの元になっているのではと指摘しました。つまり、親は子どもとの連絡や居場所確認のために持たせますが、子どもは様々な情報を得るための端末機器として持つことを考えているのです。

- 我が家のルールを作りましょう。
- 子どもとケータイやインターネットの使い方について話し合しましょう。
- 親も一緒に勉強しましょう。

インターネットやケータイのトラブルが激増している今、皆さんの学校のPTAなどでも e-ネットキャラバンを活用した研修会を行ってはいかがでしょうか。



ふれあいルームのダンス体験教室



ふれあいルームでは12月12日に教育センター向かいのスポーツアカデミーで「ヒップホップダンスを踊ろう」と題してダンスの体験教室を行いました。特別活動の一つとして例年行っていたスケート教室がアクアパーク損傷のため使えないので、それに替えて実施したものです。子どもたちはインストラクターの指導で軽快なリズムに合わせてノリノリの様子で体を動かし、快い汗をかいていました。



大吉から小吉へー今年はどうな一年？ー

教育相談班
カウンセラー助手 栗脇 瞳



皆様、明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。

さて、気づけば早いもので 2008 年という新しい年がやって来ました。私の新年イベントの一つに、近くの神社に初詣に行って、おみくじを引くという恒例行事があります（実は、お正月らしいイベントは、このくらいしかないのですが…）。その神社は、特に立派な神社というわけではありません。しかし私には、生まれたときから守ってもらっているような気がしていて、なかなか無視できない存在であったりします。ここにいらっしゃる神様は、厳しい面もお持ちの方（？）でいらっしゃるらしく、大学受験の年に限って、私に「大凶」という試練を与えてくださったエピソードもあります。

しかし、そのような厳しい神様も、去年の私に、なんと「大吉」を与えてくださったのです。ところが、不信心な私は、その頃修士論文が完成する目途が全くたっていない状態だったため、「何が大吉だ」と、反発心までもってしまったほどでした。しかし、修士論文を苦しみながらも終え、4 月から教育センターで勤めさせていただくことになりました。教育センターでは、何も分からない私に、一つ一つ優しく教えてくださるセンター職員の皆様に支えられ、どうにかここまでセンターの一員として勤めることができました。私は、相談業務をしておりますが、センターの皆様からいただいた言葉が、援助をする上での、お手本になっています。また、相談に来られる方々との大切な出会いも、私には忘れられないものとなりました。相手の方も私も、その時その場になかったら出会えなかったかと思うと、ますます大切な出会いと思えてきます。本当に、日々学ぶことに溢れています。このような素晴らしい出会いに満ちた一年だったと振り返ってみると、神様がくださった「大吉」もその通りだったのではないかな、という気になります。

そしてそして、2008 年今年の運命は…「小吉」でした。神様は、「今年はもっと着実に生きなさい」と告げて下さっているのでしょうか。とにもかくにも、日々感謝を忘れず、一生懸命がんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



良寛関係にも「偽」？

科学技術教育班

嘱託員 藤田 進



昨年末、この一年間の世相を象徴する漢字一字に「偽」が選ばれた。偽装の「偽」である。数年前に建築物の耐震構造計算書の偽装が発覚し大きな話題となったが、一人の建築士の行為ということでここまでには至らなかった。しかし、その後遺症は大きく、建築物の審査が厳しく時間がかかるようになり住宅等の建築着工が遅々として進まず、日本経済に大きな打撃を与えているという。

それに対して昨年は食肉業者、お菓子業者、老舗の和菓子業者、高級料亭の進物類など、食品に関する賞味期限や内容説明に関する偽装が次から次と表面化してきたのである。消費者にとっては何を信用していいのかわからない状態であった。これらの業者は創業時には会社の発展を念じて真面目に努力されてきたであろう。しかし、ある程度全国に通用するブランドになるにつれ、より高い利潤の追求に走った結果であろうか。

これらの現状を思うにつけ、「あってはならないこと」があまりにも多発し、「あたりまえのこと」が当たり前でなくなりつつある。様々な乱れは「いろはカルタ」がすたれてから、徐々に広がり始めたという見方がある。子どもの時には「いろはカルタ」の意味などあまり理解しないままで、頭にインプットされたものである。社会人となり、行動や判断にあたって不思議に思い出されてくる。「念には念を入れ」「論より証拠」「楽あれば苦あり」「知らぬが仏」「身から出たサビ」など・・・。

ところで、良寛に関係する著書にも「偽」があったようですので紹介してみます。

良寛が庵の床下から生えてきた竹の子のために、床に穴をあけ、さらに屋根にも穴をあけてやるために、蠟燭を使ったところ、その火が屋根に燃え移り、庵を焼いてしまった。というのがあります。

この逸話について、谷川俊明氏が新潟県教育月報平成12年9月号の文化随想「五合庵を焼いたのは誰か」で謎解きをしている。それによると、良寛とも交流のあった解良栄重の著「良寛禅師奇話」に

「師国上ノ草庵ニ在シトキ、竹筍厠ノ中ニ生ズ。師蠟燭ヲ点シ、其屋根ヲヤキ、竹ノ子ヲ出サントス。延テ厠ヲヤケリト」とある。

良寛が焼いたのは五合庵でなく、別棟の便所であったことになる。この竹の子と庵について、明治時代に七人の方がとりあげているが、「床を撤して竹と成さしめ、其の下に吟蟻す」とあり庵を焼いたとは述べてない。大正時代に二人が触れているが、良寛さまが竹の下で悠然と座禅をし、また寝起きしていたと記している。

昭和初期に相馬御風による子ども向け本「良寛坊物語」が発刊される。題名が変わったりするがロングセラーとなる。まだ庵を焼いたとは書いてない。昭和21年11月15日刊「良寛さま」で、吉田絃二郎さんは竹の子のために「良寛さまは蠟燭の火で屋根板を焼きはじめました」「見る見るうちに、火はひろがり」「草の庵は焼けてしまひました」と記している。五合庵が焼けたというのは、この本が元になっているようです。庵を焼いたのは良寛さまでなく、

吉田絃二郎さんだったのです。

これも「偽」の一つになるのでしょうか。



ノーテレビ・ノーゲーム活動

柏刈の子供8800人が挑戦

モデル実践踏まえ10日まで

市青少年健全育成市民会議（山崎高美会長）などで組織する青少年育成国民運動柏崎地域実施委員会がメディアによる弊害を呼びかけ、ノーテレビ・ノーゲームのチャレンジ活動を進めている。期間は10日まで。昨年度のモデル実施を踏ま

え、今年度の対象は柏刈刈羽の全幼稚園・保育園、全小学校の合わせて約八千八百人。対象年齢を下げ、幼児期からの保護者の意識づけを求めた。

「ノーテレビ・ノーゲーム」運動では、市内の青少年健全育成大会でメディアで得られる情報、知識量の豊かさを認めながらも、メディア漬けの悪影響を取り上げてきた。同委員会は初年度、四小・中学校をモデルに実施。実践活動後の調査で三五％の家庭が「テレビ視聴時間が減った」と回答。「食事中にテレビを見ない」は実施前の二三％から四三％に改善された。

今年度はチャレンジ企画として、参加者を「対象の子どものみ」「家族全員」など四区分に、参加コースを「一日テレビを見ない、ゲームをしない」のレベルAから「食事中はテレビを消す」のEまで五段階に設定した。

市内米山台二の杵淵直樹さん(42)宅では、テレビの覆い用に配布された塗り絵に長女のくるみちゃん(4)と一緒に着色し、家族ぐるみで挑戦。「目標が厳しいと長続きしないので、継続できそうな『食事中は消す』に、おじいちゃん、おばあちゃんからも協力してもらい、家族そろって取り



テレビに覆いをかけ、カルタを楽しむ杵淵さん一家。のんびりとふれあいの時間が過ごせるという

平成19年度

1月の予定表

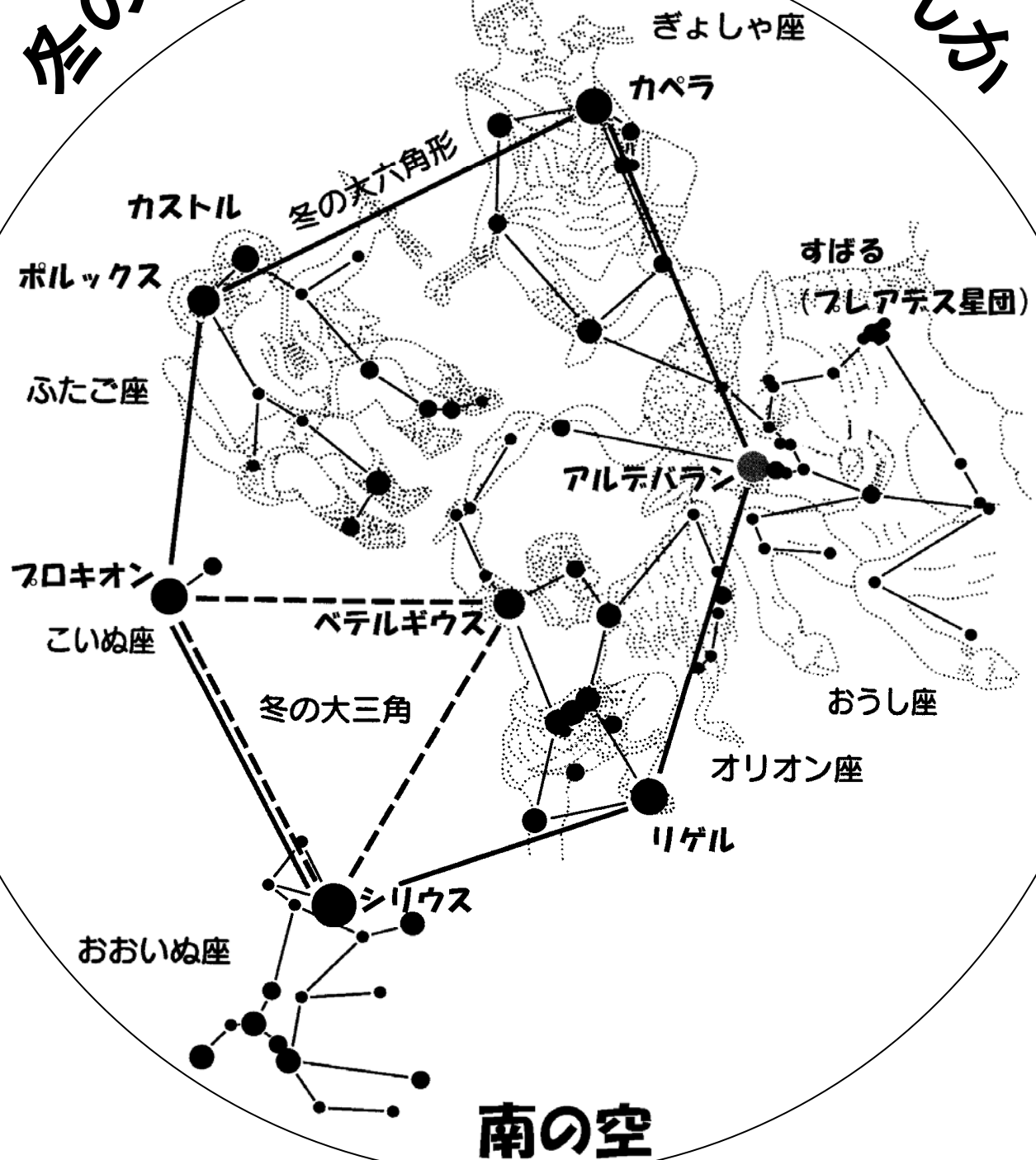
柏崎市立教育センター

日	曜	研 修 ・ センター行事・会 議	学 校 訪 問	出 張 ・ その他関係事業
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月	所内会議 13:00～		
8	火			
9	水	ふ・ふれあいルーム通級開始日 ふ・保護者面談		
10	木	ふ・保護者面談	柏崎小学校訪問（滝）15:30～ 比角小学校訪問（赤）15:30～	ガリレイ1月号発行
11	金	相・いろいろ体験グループ（小A/C）16:00～		
12	土			
13	日			
14	月			
15	火	研・教育相談研修「軽度発達障害児へのSSTの活用と展開」15:00～	第一中学校訪問（滝）10:00～ 第二中学校訪問（赤）10:00～	
16	水			出・思春期青年期精神保健研修会（栗脇：新潟） *小学校長会（多目的研修室）13:30～
17	木	科・小学校4学年「もののあたまよりかた」15:00～ 情ラ・校務の情報化研修「プロジェクトの活用」15:00～	剣野小学校訪問（滝）15:30～ 半田小学校訪問（赤）15:30～	出・精神医療センター（小林）13:00～ *音楽事務局（第一研修室）15:30～
18	金	科・冬の星空観察会（博物館）19:00～20:30 情・疑問やトラブルに答えるフリーQ & A⑨ 16:00～ 相・いろいろ体験グループ（小B）16:30～		
19	土			出・八尾市出張（小林）
20	日			
21	月			
22	火		大洲小学校訪問（滝）15:30～ 枇杷島小学校訪問（赤）15:30～	
23	水			出・県地区理セン代表者会議（所長：長岡） 学校研理科研究発表会 13:30～
24	木		鯨波小学校訪問（滝）15:30～ 榎原小学校訪問（赤）15:30～	*共同実施説明会（多目的研修室）14:00～
25	金	相・いろいろ体験グループ（中①）18:30～		
26	土			
27	日			
28	月			
29	火	情・情報教育・校務の情報化研修「基礎から学ぶICT活用⑤（スクーリング4）15:00～	上米山小学校訪問（滝）15:30～ 日吉小学校訪問（赤）15:30～	*柏刈教頭会（多目的研修室）14:00～ *養護教諭グループ研修（第一研修室）15:00～
30	水		米山小学校訪問（滝）15:30～	
31	木		中通小学校訪問（赤）15:30～	
☆今月の催し☆ 1/18 冬の星空観察会（会場：博物館）19:00～ 1/26日に開催予定の「柏崎の教育を語る会」は中止となりました。			研＝教育研究班 科＝科学技術教育班 ラ＝視聴覚ライブラリー 相＝教育相談班 ふ＝ふれあいルーム 訪＝学校訪問 出＝出張 （滝）＝滝澤学校訪問相談員 （赤）＝赤川学校訪問相談員 *＝センター施設貸し出し	

2008年2月

1	金			☆2月の催し☆ 青少年育成市民大集会（育成センター） 参加をお待ちしております！！
2	土			
3	日			
4	月			
5	火			

冬の星空を見上げてみませんか



真夜中、南の空を見上げると、最も明るい星がすぐに見つかります。それは、ギリシャ語で、焼き焦がすもの、光り輝くものという意味を持つ「おおいぬ座のシリウス」です。

その右上に赤っぽい色をした「オリオン座のベテルギウス」、左上には「こいぬ座のプロキオン」が輝き、冬の大きな三角形と呼ばれています。

さらに、おうし座のアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラ、ふたご座のポルクスを合わせて冬の大きな四角形と呼ばれ、冬の夜空を明るく彩ります。

また、清少納言が『枕草子』236段で「星はすばる・・・」と書いているように、おうし座の「すばる (プレアデス星団)」も、その美しさから多くの人々の目を夜空へと誘います。

2008

1

がつ

こどもと先生のための プロジェクト

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 柏崎市立教育センター科学技術教育班 ○ ○ ○

ふゆ

ほしぞらかんさつかい

冬の星空観察会

◇と き 1月18日(金)

19:00~20:30

◇ところ 柏崎市立博物館

(会場と時間がいつもと違うのでご注意ください。)

◇内 容 ・冬の星空のプラネタリウム学習
・天候が良ければ実際の星空観察も行います。

◇申込み 柏崎市立教育センター
科学技術教育班へ
×切1月16日(水)

◇参加料 無料

◇持ち物 懐中電灯, 双眼鏡(ある人のみ)

◇その他 夜間の活動のため, 保護者同伴で
ご参加下さい。



お問い合わせ, お申込みは柏崎市立教育センター
科学技術教育班へ Tel: 0257-20-0212
(平日8:30~17:00)

教育センター事業の参加・利用状況(12月)

	研修講座・事業名	12月の 利用数	12月末までの 利用合計数	18年度の 利用合計数
教育 研究 班	専門研修講座 *	5回	38回	56回
		162人	1282人	1,810人
	学校の要請研修会	0回	1回	5回
		0人	1人	25人
	調査研究員会, 教科研修員会	0回	11回	10回
		0人	46人	40人
	教育情報化研修講座 *	4回	35回	41回
		36人	243人	529人
	情報教育主事の要請支援等	6回	81回	98回
		60人	739人	865人
科学 技術 教育 班	その他の相談・利用・参加数	3回	33回	38回
		3人	42人	67人
	教科書センター利用閲覧数	2人	205人	413人
	理科研修講座 *	1回	14回	12回
		10人	120人	173人
	学校等の要請研修	1回	20回	15回
		81人	766人	365人
	地域の自然研修・観察会	0回	7回	9回
		0人	272人	586人
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	0人	4550人	10,140人
教育 相談 班	理科教育の相談・支援	7件	225件	289件
	理科教材・物品の貸出	4件	96件	147件
	(教職員研修の合計)	13人	391人	799人
	カウンセリングルーム来室相談	新規	18件	172件
		継続	56件	444件
	学校訪問相談		5回	100回
			100回	140回
	家庭訪問相談		1回	18回
			1人	7人
	電話相談		8件	27件
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー			27件	40件
	ソーシャルスキルトレーニング		5回	32回
			25人	166人
			166人	187人
	ふれあいルーム通級人数	小学生	1人	12人
		中学生	16人	124人
			124人	199人
	ふれあいルーム通級日数		14日	142日
			142日	193日
	同上 学校復帰数(部分復帰を含む)		2人	14人
教育 センター 事業 の 参 加 ・ 利 用 状 況			14人	17人
	16ミリフィルムの貸し出し		8本	66本
			66本	166本
	ビデオテープ・DVDの貸し出し		43本	280本
			280本	506本
	視聴覚機材の貸し出し		50台	528台
			528台	619台
	編集, 借用, 相談等の来室者		67人	658人
			658人	1,160人
	機器操作研修会		12人	39人
教育 センター 事業 の 参 加 ・ 利 用 状 況			39人	38人
	親子映画会・児童クラブ映画会		0人	100人
			100人	0人
	教育団体, P T A, 市民等の利用		250人	3169人
			3169人	3,304人
	教育センターにおける教職員研修講座 (* 印の合計)		10回	87回
			208人	1645人
			1645人	2,512人
	教育センター事業の参加・利用総数		927	14,504
			14,504	22,809

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、分析と統合との経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

これまで、新しい教育を創り出す私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる検証と気概が必要であるという趣旨から、「がりれお」を発行してきました。この精神を引き継ぎ、平成 17 年度から「GALILEI」という名称で、教育・育成センターの情報を広く皆様に発信しています。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2—31

柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610